

ダブリューシーピーエフシー

W C P F C (中西部太平洋まぐろ類委員会)

きたしょういんかい

北小委員会の結果について**1 日時・場所**

10月5日(火)から7日(木)まで、ウェブ会議形式で開催。

2 参加国・地域

日本、カナダ、中国、クック諸島、フィジー、韓国、フィリピン、米国、バヌアツ、台湾(計10か国・地域)

3 我が国出席者

高瀬水産庁資源管理部審議官(政府代表)、宮原農林水産省顧問(北小委員会議長)ほか、水産庁、外務省、国立研究開発法人 水産研究・教育機構、業界関係者等。

4 結果概要(太平洋クロマグロ関係)

- (1) 「大型魚の漁獲枠の15%増」等について、合意された。
- (2) 今後、12月に開催されるWCPFC「年次会合」において、「大型魚の漁獲枠の15%増」等が、「北小委員会」からの勧告として議論されることとなる。

【参考1 WCPFC北小委員会とIATTCの合同作業部会の結果概要】

(1) 漁獲枠

WCPFC		IATTC (※1)
小型魚	大型魚	
現状維持	● 15%増 (※2、※3)	● 15%増 ● 上記に加えて200トン増 (※4)

(※1) 小型魚枠／大型魚枠の区分はない。

(※2) 我が国は732トン増。

(※3) 韓国は現在枠がないため、30トンを設定。

(※4) 200トンのIATTC内の配分は今後検討。

(2) 漁獲枠の未利用分の繰越

「漁獲枠の未利用分の繰越率の上限を、漁獲枠の5%から17%へ増加」する現行の特例措置を、今後3年延長。

(3) 小型魚の大型魚への振替

継続的な措置とするとともに、小型魚枠の10%を上限として、「1.47倍」換算して振り替えることが可能。

【参考2 関係会合のスケジュール】

(1) WCPFC「年次会合」(12月1日～12月7日、ウェブ会議)

(2) IATTC「年次会合(再開会合)」(10月18日～22日、ウェブ会議)